

令和5年度 ファンドレイジング研修

～ファンを増やして福祉活動を成長させる ファンドレイジング基礎知識～

収録型
WEB 研修

本研修の主旨

社会課題が複雑化・多様化する昨今、福祉を支えてきた公的財源は減少傾向を強めています。また、公的財源には「制度の狭間にあるニーズを拾いきれない」「即応が求められるニーズに対応しづらい」などといった弱みもあり、民間財源と組み合わせた組織運営を検討する団体も増え始めています。

自施設・事業所の使命を達するために、目の前の困っている人々を支援するために“お金がないで終わらせないための手法＝ファンドレイジング”について学んでみませんか。ファンドレイジングは単なる資金調達的手段ではありません。多くの人に社会課題と自らの団体もつ有効な解決策を共有し「ファン」になってもらい、課題解決までを一緒に歩いていく取り組みです。正しくファンドレイジングを理解し、自組織の福祉活動を成長させるきっかけにしてみませんか。

1 配信期間

令和6年1月10日(水)10時～2月21日(水)17時(WE Bによる収録動画配信)

※上記の期間内であれば、複数回・途中からでも視聴することができます。

2 対象

東京都民を対象とする福祉施設・事業所の職員で「ファンドレイジング」に関心のある方

3 受講料

5,000円(非課税)／名

4 研修コード(振込用紙に記載いただくコードです)

FR10

5 内容

◆プログラム

- (1)福祉活動と資金の関係性
(福祉を支えてきた主要な財源が減少／公的財源では対応困難なニーズ／福祉団体の不安定な経営状況への対策の必要性)
- (2)ファンドレイジングとは？
(ファンドレイジングサイクル／団体を知ってもらい覚えてもらいファンになってもらう)
- (3)ファンドレイジングの手法
(寄付プログラムの種類／寄付プログラムの継続性と総寄付額の関係)
- (4)社会的インパクト志向の活動づくり

◆研修時間

165分(個人ワーク含む)



6 申込締切

令和5年12月20日(水)【申込み 及び 受講料の振込期限】

【講師プロフィール】

久津摩 和弘 氏 日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET 理事長
(NPO 法人日本ファンドレイジング協会 理事／認定講師／全国福祉チャプター代表)

大学卒業後、県社協で権利擁護関連業務等を担当。2006 年より福祉分野におけるファンドレイジング普及啓発活動を開始。2011 年、県共募へ出向。2012 年、赤い羽根共同募金が全国各地で展開する寄付つき商品企画「募金百貨店プロジェクト」創設。2016 年、都道府県社協を退職後、福祉業界へのファンドレイジング普及を行う全国組織 COMMNET を創設。2017 年、日本ファンドレイジング協会の福祉部門「全国福祉チャプター」創設。2018 年、国際 NGO と福祉組織・団体が寄付文化醸成やファンドレイジングの連携を行う日本初のプロジェクトを創設、国境なき医師団日本、ワールドビジョン、セーブ・ザ・チルドレン、プラン・インターナショナルと連携協定締結。同年、日本の福祉業界初のファンドレイジング書籍「地域福祉とファンドレイジング」出版。2022 年、日本初の「社会福祉ファンドレイザー」認証専門コース(日本ファンドレイジング協会)の創設に関わり、カリキュラム作成。国の府省、全国各地の自治体、社協、社会福祉法人、NPO などの講師、委員、アドバイザー等を行うほか、富裕層や有名企業役員等に対する社会貢献のアドバイスも行っている。

【講師からメッセージ】

新たな社会福祉士養成課程カリキュラムに「ファンドレイジング」が入り、福祉専門職育成の授業に導入する大学も増えています。また、社会福祉法人、社会福祉協議会、NPO 法人等の福祉サービス提供組織においても、専門チームや担当を設置して本格的に動き始める組織が全国各地で増加しています。国も地域共生社会のために不可欠なものとして捉え、動き始めている今この時に、「ファンドレイジングってそもそも何？」と思う方は、まず本講座で基礎的知識を学んでみてください。

7 その他

- ① 「パスワード」は12月27日(水)以降、「けんとくん」にご登録の事業所アドレス宛に「メール」でお送りします(12月28日(木)までに届かない場合は、お手数ですがお問い合わせください)。
- ② 配信開始後、「けんとくん」の動画視聴ページより「資料」(PDF 等)をダウンロードできます。
- ③ 研修動画には「字幕」はありません。なお、聴覚障害をお持ちの方で「研修動画の文字起こし文章」を希望される場合にはご提供させていただきます。受講申込時にお申し出ください。

8 主催 社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室

♪受講者の声♪



社会福祉法人の役割である地域福祉のニーズ発掘、解決を進めるためにファンドレイジングの発想を取り入れて活動の幅を広げていくことがイメージできました。

法人が置かれている状況が良く分かった。今後、少子高齢化が急速に進むと経営が難しくなるということを理解できていなかったのがショックだった。また後援会の会員管理業務を行っているので、寄付者に対する感謝が足りていないと感じた。



【お問合せ先】

社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室(池田・村上)
〒112-0006 東京都文京区小日向 4-1-6 東京都社会福祉保健医療研修センター1階
TEL : 03 - 5800 - 3335 研修受付システム「けんとくん」 <https://www.kentokun.jp/>

けんとくん

